

本番だヨ！全員集合！



報道 CHAN'T

埼玉での活動にこだわり、今まで多くの公演を埼玉県で行ってきた劇団 CHAN' T。そんな彼らが完全新作「かぎりなくやわからに」を引っ提げて遂に東京の劇場へ進出！当取材班は緊急突撃取材を敢行した！その結果は……！？

劇団創設以来異例の大所帯となった今回の公演。
前列右より、山口 真喜子、相楽 里菜、伊織 夏生、高橋 綾香
真中右より、米田 匡史、武野内 康寛、引地 直樹、粟谷 茂、緋野 飛鳥
後列右より、渡辺 崇生、HAJIME、黒滝 真祐、井原 二三恵、柴崎 愛、佐藤 武

彩の国から最強軍団！？

稽古場騒然！ 出演者は十五人！

早速稽古場に着いた我々を待っていたのは「ドウドウ
ビエネー！オレ、チンジャオ
ロースなのか！？」という意味
不明な絶叫であった。こ、これ
が台詞なのか！？ 一体どんな
物語……つと、どうやら稽古中
に役者が台詞を囁んでしまった
ようだ。イキナリのに動揺
した我々取材班であったが、稽
古は真剣そのものだ。

稽古場では十五人という大勢の人数が集まっており、更にその中の十一人が新メンバーである。システムエンジニア、製菓会社の品質試験士、声優、花屋、フリーのプログラマー、OL……と職業も年齢もバラバラの彼ら。全く違った色や形を持つそのメンバーが互いに切磋琢磨する稽古場は、何かを生み出すというやる気と気合で満ち満ちており、記者は、芝居というものとは魂と魂のぶつかり合いなのだということを改めて認識させられることとなった。

「芝居をしたいという思いに込める」と言う劇団 CHAN' T 創

設時からの信念のもと、十五人全員が舞台上がり、それぞれの役を生きていることとなる。

後は仕上げを 御覧じろ

今回の脚本「かぎりなくやわからに」は、満を持しての東京進出に相応しく、劇団 CHAN' T 二年ぶりの新作となっている。稽古場の雰囲気からはそんな彼らのこの一本にかける熱意をまざまざと感じることが出来る。「まあ、やってみますよ」

演出席に立つ佐藤氏は記者にそう語った。大きな自信とわずかな不安とが緋い交ぜになったその表情は、一体何を物語っているのだろうか。

しかし、事前に行われた予告編も予想以上の好評を博し、東京進出へのお膳立ては十分に整ったと言える。

個性の塊である彼らが、佐藤武という演出によって同じベクトルを向き、突き進んだ時、一体どのようなものが生み出されるのか。是非ご覧あれ。

あなたにピアノ教室

練馬区小竹町でピアノ教室を開いています。無料レッスン開催中。お気軽にご予約ください。

